

# 和歌山市 工業用水道事業 経営戦略 概要版



(六十谷第1浄水場及び六十谷第2浄水場の全体図)

2019年3月  
和歌山市企業局

## 目次

第1章	経営戦略の概要	1
第2章	工業用水道事業の現状と課題	2
第3章	工業用水道事業の効率化・健全化への取り組み	4
第4章	投資計画	6
第5章	財政計画	7
第6章	料金体系の見直し	8
第7章	計画の点検と進捗管理	9

## 1 経営戦略策定の経緯

- ・ 公営企業の経営に当たっての留意事項について  
(総務省 平成26(2014)年8月通知)
- ・ 「経営戦略」の策定推進について  
(総務省 平成28(2016)年1月通知)
  - 経営戦略策定ガイドライン
  - 地方財政措置
  - 平成32(2020)年度までの策定要請



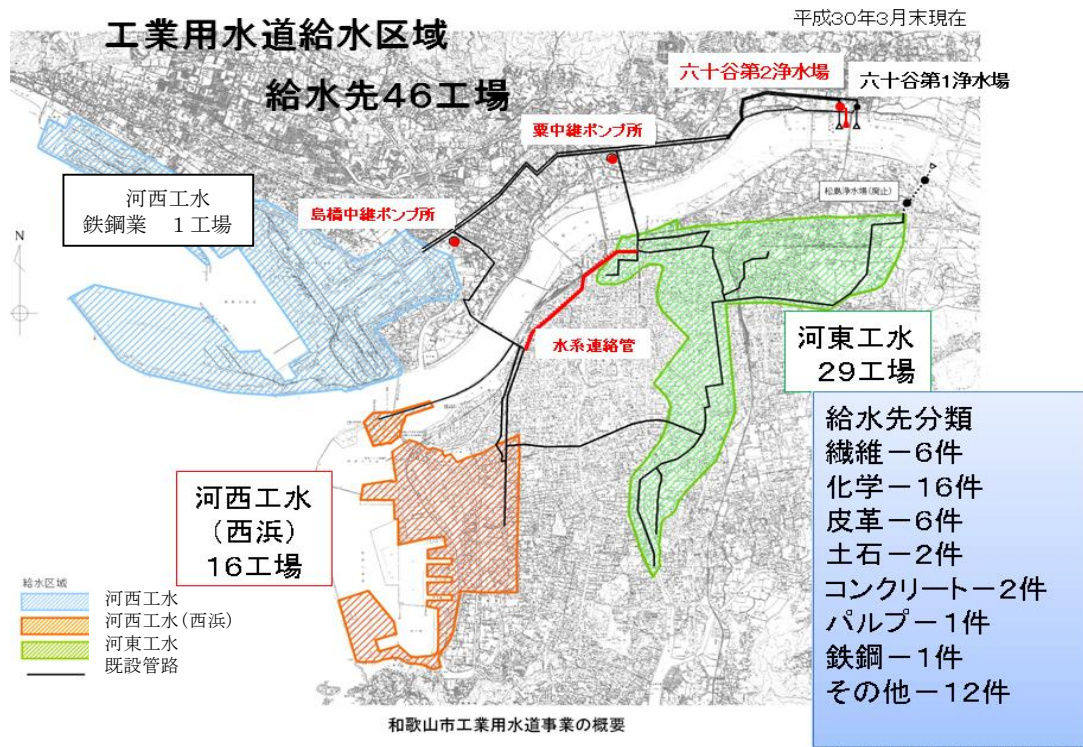
和歌山市工業用水道事業経営戦略  
経営基盤の強化と財政マネジメントの向上  
平成30(2018)年度

## 2 計画期間

➤ 2019年度～2028年度(10年間)

1 工業用水道施設や管路の状況

(1) 給水区域及び主な工業用水道施設位置図



➤河工水

上図の水色の鉄鋼業1工場及び橙色の西浜地区を中心とした16工場に送水しています。

➤河東工水

上図の緑色の部分の29工場に送水しています。

(2) 管路の状況 (平成29年度)

➤本市の管路総延長

46.1km

➤管路経年化率

類似団体より高く、老朽管が多い状況です。

➤管路更新率

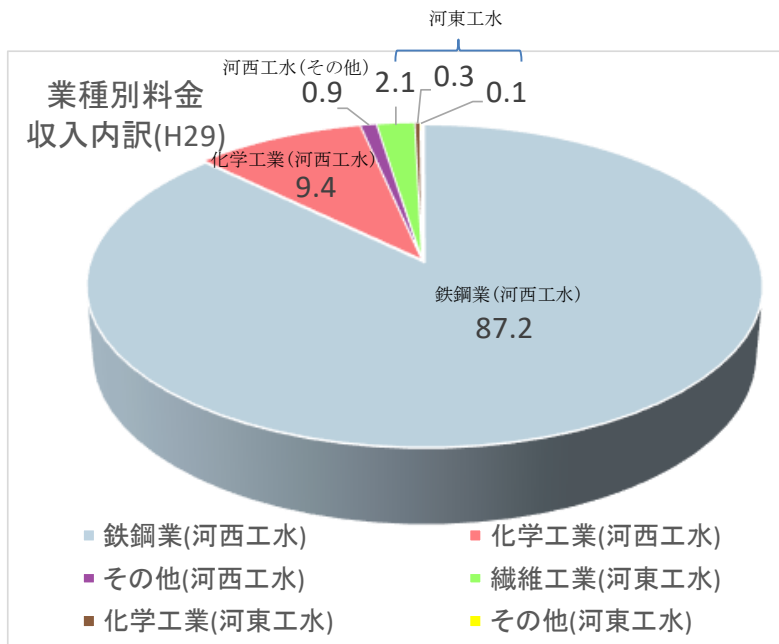
類似団体より低く、更新のペースが低い状況です。

	和歌山市	類似団体平均
管路経年化率 (%)	73.92	53.11
管路更新率 (%)	0.00	0.31

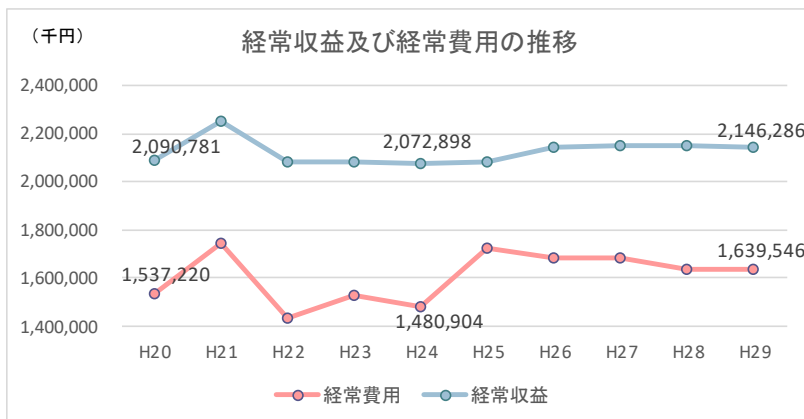
2 経営の状況

(1) 料金収入

- ▶料金収入の大部分を占める河西工水の料金体系が、契約水量分の料金を支払う責任消費水量制であるため、料金収入はほぼ一定の割合で推移しています。
- ▶河西工水の割合は97.5%、河東工水の割合は2.5%です。



(2) 経常収支の推移



▶経常収益  
約21～22億円の範囲で安定して推移しています。

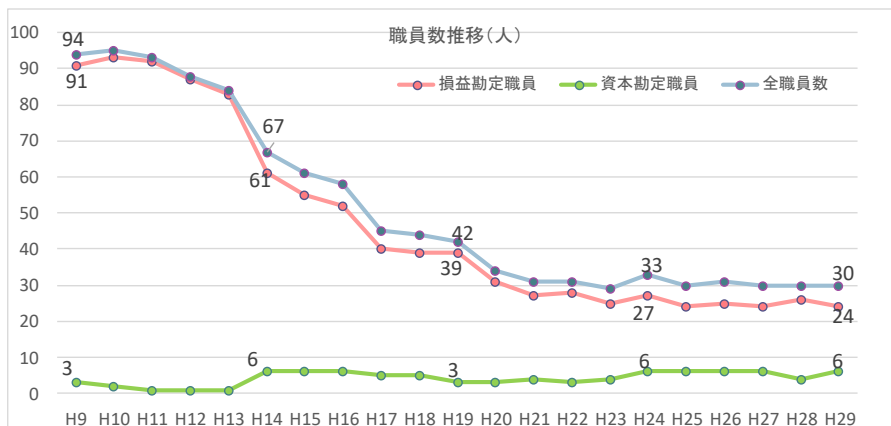
▶経常費用  
約15～18億円で増減を繰り返しながら、推移しています。

1 取り組みの概要

基本施策	具体的施策
1 経営基盤強化にかかわる取り組み	(1) 人員配置の適正化
	(2) 技術力の向上
	(3) 民間活力の利用拡大
	(4) 財源確保に関する取り組み
	(5) 企業債の抑制
	(6) 資産の有効活用
	(7) 工業用水道料金体系の見直しの検討
	(8) 浄水汚泥の有効利用
	(9) 情報通信技術の活用
	(10) 広報広聴活動の充実
	(11) 入札制度の検討
2 投資の合理化にかかわる取り組み	(1) 施設・設備の統廃合
	(2) 施設・設備の合理化
	(3) 施設の長寿命化
	(4) 民間資金の利用の検討
3 安定給水にかかわる取り組み	(1) 災害対策の強化
	(2) 県工業用水道との連携
	(3) 上・下水道との連携

2 経営基盤強化にかかわる取り組み

(1) 人員配置の適正化



➤ これまでも人員の適正化に取り組んできましたが、今後も災害等への対応力を確保しつつ、合理的な組織体制の整備を図っていきます。

(2) 企業債の抑制

企業債残高対給水収益比率(%)	和歌山市	類似団体平均
平成29年度	381.57	248.06
平成8年度	264.61	-

➤ 企業債残高

類似団体と比較すると、1.5倍以上あります。事業費の削減などを図りながら、適正な水準となるよう努めていきます。

## 3 投資の合理化にかかる取り組み

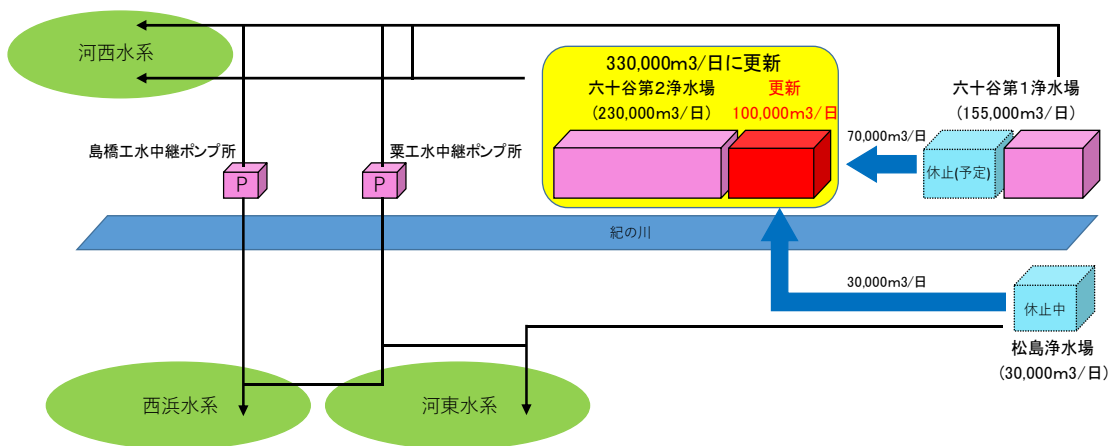
## 施設・設備の適正化

➤ 100,000m<sup>3</sup>/日の浄水施設整備

30,000m<sup>3</sup>/日の浄水施設能力の松島浄水場と、六十谷第1浄水場の70,000m<sup>3</sup>/日の浄水施設能力の部分を統合します。

➤ ダウンサイジングの検討

100,000m<sup>3</sup>/日の浄水施設を整備後、残りの浄水施設の更新規模や管路のダウンサイジングなどの検討を行います。



## 4 安定給水にかかる取り組み

## (1) 災害対策の強化

➤ 災害時における早期復旧体制の整備

- ・ 工業用水道業務継続計画（BCP）を策定し、防災体制の強化に取り組んでいます。
- ・ 今後も、他団体と一層連携を図るとともに、災害訓練を実施するなど、災害に備えた取り組みを実施します。

## (2) 上・下水道との連携

- 上・下水道事業との資材の供用
- 災害等発生時の相互応援体制の強化

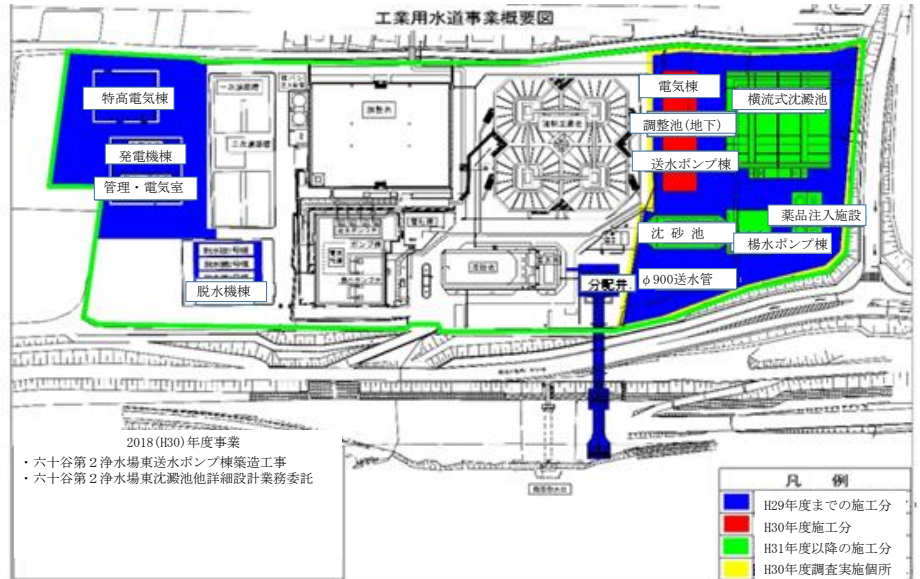


### 1 浄水施設整備計画

➤更新計画

100,000m<sup>3</sup> /日の浄水施設整備に取り組んでいきます。

➤その後は、ユーザーと協議し、水需要に応じた最適な規模での施設更新に努めます。



### 2 管路更新計画

➤管路更新の考え方

河東工水には昭和29年創設当時の配水管もあり、老朽化が進んでいることから、漏水履歴の多い箇所を優先的に更新します。

河西工水では、鋼管を採用しているところが多く、実使用年数は70年といわれていることから、2030年頃から順次更新が必要となってきます。

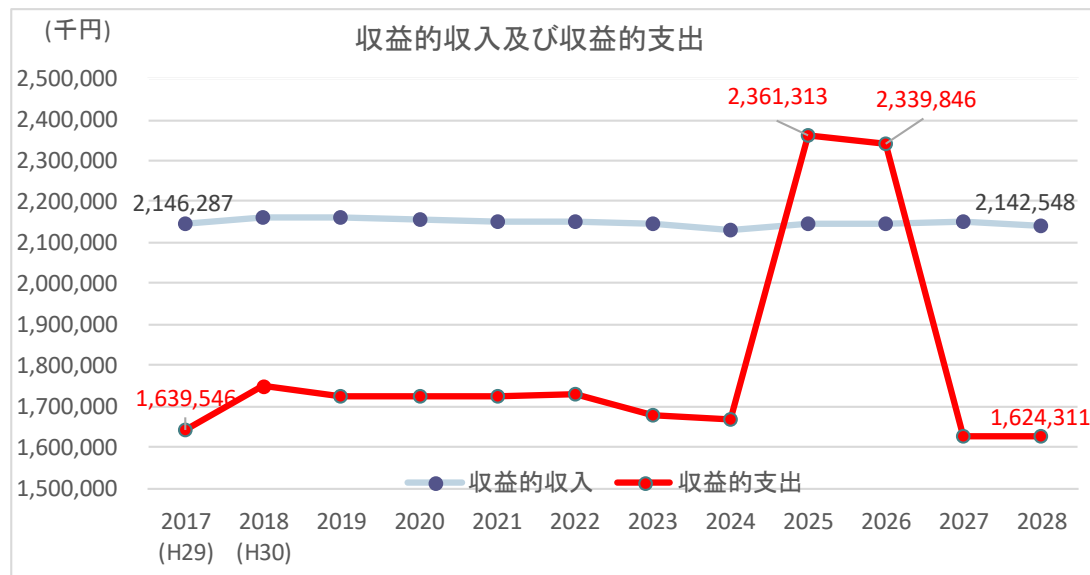
➤ 今後の方針について

河東工水の老朽配水管の漏水が発生している箇所の布設替工事を進めます。

	和歌山市 2017 (H29) 年度	前期平均 2019～2023年度	後期平均 2024～2028年度	類似団体平均 2017 (H29) 年度
管路更新率 (%)	0	0.75	0.75	0.31



## 1 財政状況の見通し



## ➤ 収益的収入

現状の料金体系で試算しているため、大きな増減はない見通しです。

## ➤ 収益的支出

今後、更新する浄水施設の用地を確保するため、六十谷第1浄水場の撤去費用を2025年度及び2026年度に想定しているため、一時的に費用が大きく増加する見込みです。

## ➤ 経常損益

2025年度及び2026年度に一時的に赤字になる見通しですが、2027年度以降は回復する見通しです。

## 1 類似団体における料金の比較

➤有収水量1 m<sup>3</sup>当たりについて、どれだけの収益を得ているかを表した指標である供給単価は、類似団体平均に比べて13.91円/m<sup>3</sup>低くなっています。

	算出式	和歌山市	類似団体平均
供給単価 (円/m <sup>3</sup> ) (平成29年度)	料金収入/ 年間有収水量	20.46	34.37

## 2 料金体系の見直しに向けて

- 多くの事業者は、ユーザーが実際に使用した水量ではなく、契約水量に基づき料金を回収する責任消費水量制を採用してきました。
- 河西工水においては、建設時から、先行投資した分の負担分という考え方から、責任消費水量制を基本に運営してきました。
- 現在、河西工水においては、契約水量と実使用水量が乖離してきているなどの課題があります。



- 六十谷第2浄水場東側用地に100,000 m<sup>3</sup>/日の浄水施設の整備以降の計画を策定する際、ユーザーと協議を行い、二部料金制の導入を含めた料金体系の見直しを検討します。

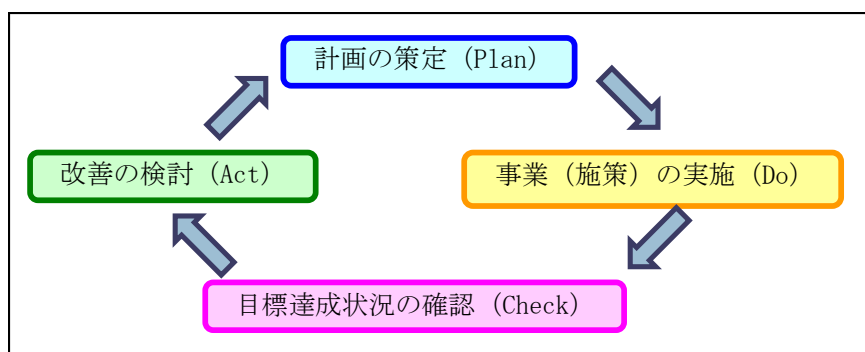
## 1 経営戦略における目標指標

	指標	意味	和歌山市			2017 (H29)年度 類似団体 平均
			2017年度 (H29年度)	前期目標 2023年度	後期目標 2028年度	
1	経常収支比率(%)	経営の 健全性	130.91	127.81	131.91	129.32
2	企業債残高対 給水収益比率(%)		381.57	304.98	327.69	248.06
3	料金回収率(%)	経営の 効率性	132.22	128.90	133.28	126.69
4	施設利用率(%)		68.40	68.40	86.02	57.74
5	有収率(%)		97.13	98.00	98.00	98.10
6	管路更新率(%)	老朽化 の状況	0.00	0.75	0.75	0.31

## 2 計画の推進と点検・進捗管理の方法

➤経営戦略の各施策を着実に実施するため、PDCAサイクルを活用します。

➤適切に進捗管理を行うとともに、3～5年ごとを目途に必要な応じて見直しを行います。



**和歌山市 工業用水道事業 経営戦略 概要版**

発行 2019年3月

和歌山市企業局 経営管理部 経理課

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地

TEL : 073-435-1125

FAX : 073-435-1280

e-mail : keiri@city.wakayama.lg.jp

ホームページ : <http://www.wakayamashi-suido.jp/>